

皆様こんにちは。

早いもので、私が8年間住んだNYを離れ、日本に帰郷して一ヶ月が経ちます。実家のある名古屋は、また冬に逆戻りといった気候で、とても寒いです。皆様の方はいかがお過ごしですか？日本は寒さのアップダウンがNYほどありませんから、朝になってその日に着ていく服に悩む、といった事はありませんが。

そして、日曜日である大震災から一年が経ちました。今回は私があの大震災後に、自分の中に湧き上がった気持ちをそのまま歌った曲の Video をシェアしたいと思い、メールをさせて頂きました。

Michinoku ～陸奥国～ by Go Takeuchi

Music video on Youtube: <http://www.youtube.com/watch?v=Jnpml-qK9Wk>

3月11日は日本人にとって、一生忘れる事の無いであろう日になってしまいました。恥ずかしいのを承知で申し上げますと、僕はインド洋大津波の時にもハイチ地震の時も、記憶にある限りは募金をした覚えがありません。日々の生活に追われ、どこか他人事のようにとらえていました。完全に。一年前の東北大地震の前までは、、、

音楽を演奏したりして、今ある現実が元通りになる事はありませんし、被災された方の心の痛み、苦しみは他人には絶対に分かることはないと思います。そんな事より、ボランティアをしたり、募金をした方がよっぽど現実的でしょう。

個人的な意見ですが、音楽なんて、別に人間の生活になくても支障はないものだけれど、何故かそこにあると楽しいもの、面白いもの、だから今の世の中まで残ってきたのでは、と思います。

今の自分にとっては、支えてくださる周りの人や、応援してくださる方々に感謝をしながら、日々をしっかりと生きるという事しかできませんが、いつかまた東北の大地、そして日本に笑顔が戻る日が来る事を心から願ってやみません。そして皆様のもとにも、爽やかな春の風が訪れますように。

どうも有難うございました。

2012年3月12日 武内 剛

3.11 is the day that became we, Japanese people will never forget. To be honest, it's a shame to say, but I had never donated even a penny for those people in Haiti, or Indonesia, or other countries who were surviving by the natural disasters. I was young and selfish, and didn't take it personally. I thought it was happening somewhere faraway, before 3.11 Earthquake & Tsunami hit Japan.

Music can't do or help anything literally. It makes more sense to do volunteer work or give some money for people who need help. A musician like me playing music is just self-satisfaction. Yes. Absolutely.

However, it's also true that I was sometimes healed by music. Listening music can't get rid of the pain fully. It can't take off the needle from your heart. But I can forget the pain maybe just one sec.

Anyway, after crying, we have to live.